

## 問 タウンミーティングの 評価と今後は

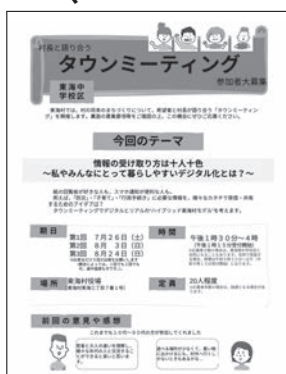
答 一定の成果あるが課題も認識



光風会 志保 議員  
村上 志保

**問** タウンミーティングの目的および参加者が定数40名に対し平均7・6人と少ない要因について伺う。

**答** 村政に対する住民のご意見やご提案を直接伺い、村政運営に反映することが目的。参加者数が少ない要因は、開催日時の都合やテーマへの関心の個人差、村政への関心が薄い層へのアプローチが十分でないこと等も一因。



タウンミーティング  
参加者募集のチラシ

委託料は。参加者の少なさにより開催回数が減っても委託料に変更が生じない理由とその妥当性の根拠は。

**答** 委託料は業務全体に対する包括的な契約となっているが、あえて1回当たりで割り返すと税別約10万円の計算。専門的かつ多岐にわたる業務が含まれており、委託料は適切である。

**問** タウンミーティングの開催要綱を定め、その趣旨や開催方法等を明示してはどうか。

**答** 形式にとらわれないう柔軟な運用にも配慮しつつ今後の存り方について検討する。

## 問 避難用の福祉車両は 1台も登録がない

答 県全体で1万台必要、今後県が検証



あべ 功志 議員

**問** 原子力災害の避難計画にはさまざまな解決困難な課題がある。県とバス協会の協定では被ばく線量が1ミリシーベルト未満でバスを出す。しかしバス避難の必要な事故は優に1ミリシーベルトを超えると想定され、そうになるとバスは来ないが。

**答** 超える場合は県から自衛隊などの実動機関に協力を要請する。

**問** では初めから自衛隊に要請するということになる。バスや福祉車両等を含めて村民全員が30キロ圏外に避難するのにかかる時間は。

**答** 平成25年県のシ



令和4年に実施された「東海村広域避難訓練」の様子

ミュレーションではUPZ外への避難で22時間30分。

**問** それは元気な人が車で避難する時間。自力避難ができない人は含まない。福祉車両は県の配車用システムにこ5年で1台も登録がない。県内の福祉車両の絶対数が足りないが、県と村で各何台の確保が必要か。今後の車両確保の見通しは。

**答** 県全体で約1万台必要。村では12人分。今後、県の検証委員会で車両確保の考え方が検証される。